

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

<県央会場>

科目 ⑮放課後児童支援員の仕事内容

- ◆ 放課後児童クラブは、年齢や発達状況が異なる多様な子どもたちが一緒に過ごす中で、支援員は子どもの様子の変化や心身の状態を把握して、安心して遊び、くつろぎ、学習等を自主的に行える環境を整え、必要な援助を行う仕事だと思いました。これから屋内で過ごす時間が増えますが、子どもの遊びを豊かにする工夫をして、楽しく安全に過ごす関わりをもちたいです。
- ◆ 子育てと仕事の両立が難しい保護者が預ける場所としての認識はあったが、通う子どもが自ら進んで通い続けるための工夫に考えが及んだことがなかった。そのために、保護者との密な連携が必要なことは腑に落ちた。放課後児童支援員に求められる資質に自己研鑽と資質向上のための研修に参加していくことが必要なこと、放課後児童クラブという職員集団としては建設的な意見交換のできる集団であることの大切さを再認識した。
- ◆ 今回の研修は、現在やっている仕事内容を一つ一つ復習しているような感じで、とても分かりやすかった。自分の学童は職場の職員との関係もしっかりしていて職員同士の情報共有や意見交換をしながら育成支援に努めている。これからも子どもたちが安心して過ごせるように保護者の方と連携をとりながら支援していきたいと思う。地域との関係もさらに連携していけるように努めたいと思った。
- ◆ 育成支援に子どもの権利についての記載が今年度から追加されたと学び、子どもの権利条約を理解実践し、子どもたちに伝えていく時代が変わってきていると感じた。放課後児童支援員に求められるものが、資質及び技能や、職員としての役割、社会的責任や職場倫理等と、自分の想像には及ばない範囲にわたっており、強い自覚をもつ必要があると思った。研修に積極的に参加し、アップデートを重ね時代に合った育成支援ができるようにしたい。
- ◆ 本科目を通じて、改めて自分が働いている場所について詳しく学んだ。仕事内容や資質の在り方、役割を聞き、子どもたちにとってより良い環境にしていくために職員が日々行っていくべきことを知った。また、学校や地域と連携を取り合うためにコーディネーターに相談することも良いと感じた。来年度から入所する子どもの数も倍になる予定なので、今一度学んだことを復習しつつ、職員にも共有して日々スキルアップに励みたいと思った。